

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年2月5日
商工中金

瀬戸信用金庫と協調し、独自の技術を有する床タイルの国内トップメーカー 品野セラミックタイル工業株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、厳しい経営環境の中でも、業績の改善に取り組む中小企業の皆さまを、地域金融機関や他の関係機関等と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（名古屋支店）は、品野セラミックタイル工業株式会社様（本社：愛知県瀬戸市、代表者：佐藤 基様）に対し、瀬戸信用金庫と協調して、生産設備の高度化や既存債務のリストラチャリングに必要な資金約12億円を融資しました。なお、本件の内、2億5,000万円については、期間20年期限一括償還型の資本性劣後ローンを適用し、同社の財務体質強化にも寄与しています。

同社は、国内トップシェアを誇る床タイルの製造業者です。セラミックに関する複数の特許技術を保有し、視覚障害者に対応した床タイルを開発する等、機能やデザインに優れた多様な製品を短納期で提供しています。

同社は、多角化投資や研究開発など積極的に業容の拡大を図ってきましたが、円高に伴う海外からの安価な製品流入等の影響を受け、大きな損失の計上を迫られました。一方、厳しい状況下においても、生産工場の集約化や原材料の調達方法の見直しなど、様々な経営合理化に向けた取組みを継続しています。

商工中金は、主要取引先へのヒアリングを通じて同社の技術力を把握するなど、綿密な事業性評価を行うとともに、経営課題を同社と共有しました。その結果、生産設備の高度化と財務構造の見直しが必要と考え、同社のほか、コンサルティング機能を持つ商工中金経済研究所を交えて中長期計画を策定、主要行の瀬戸信用金庫と共有しました。なお、商工中金は、財務改善に有効な資本性劣後ローンのノウハウを瀬戸信用金庫に提供、同社に対し、資本性劣後ローンを融資するなど、協調して財務基盤の強化と金融取引の正常化に取り組んでいます。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

(※)2020年12月、商工中金と瀬戸信金は、再生支援にかかる業務協力を締結しています。

【品野セラミックタイル工業株式会社様の概要】

所在地	愛知県瀬戸市広之田町27
代表者	佐藤 基様
資本金	4,500万円
従業員数	69名（2020年12月現在）
設立	1963年5月
業種	陶磁器製タイル製造業

